



互知識



神奈川県
教育委員会

保護者・地域の皆様へ

出席停止制度？

だれに対し

問題行動（他の子どもを傷つける、授業妨害をする等）を繰り返し起こす子どもに対し、
どのような場合に

学校等が繰り返し指導をしたにもかかわらず状況が改善されない場合に、
何のために

全ての子どもたちが安全・安心な学校生活を送ることができるようにするために、
どこで

学校以外の場所で指導等を行うことが「出席停止制度」です。

出席停止制度適用まで（公立の小中学校において適用される制度です）

保護者に学校の生徒指導の方針や出席停止制度について知らせておきます。
対象のお子さんの保護者と面談を行います。
実施の決定は、各市町村教育委員会が行います。
実施の決定を、文書で対象の保護者に伝えます。



問題行動等に対応する関係機関

県警少年相談・保護センター

非行や不良行為等の相談、いじめや児童虐待等の被害者の相談を受けています。また、保護者同意のもと問題行動が深刻化している子どもに指導を行っています。

県警各警察署

被害届が出された場合、刑事事件として捜査を行います。生活安全課少年係では、非行等の問題行動についての一般的な相談をすることもできます。

児童相談所

犯罪行為時に14歳未満だった場合に指導等を行います。

教育委員会

状況に応じ、指導・助言、相談等を行います。

その他

個別の状況に応じ、医療機関、市町村福祉部局等とも連携します。



いじめ等についての相談機関があります。別紙をご覧ください。

問い合わせ先

神奈川県教育委員会教育局支援教育部子ども教育支援課

平成25年3月発行

電話：045-210-8292

いじめをしない させない 許さない！

いじめは、

重大な人権侵害であり、決して許されることはありません。
どの学校にも、どの子どもにも起こりうるものです。
誰もがいじめる側、いじめられる側になる可能性があります。

悪ふざけだと言ういじめもあります。いじめにあたるかあたらないかは、いじめられた子どもの立場に立って判断するものです。

いじめのサインは見えにくいものです。

深刻な状況になってしまうまで、周囲の人たちが気づかない場合もあります



家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たし、子どもたちを守り、育てましょう。



「自分はいじめたりしていない」から大丈夫！？
子どもたちは自覚のないまま、いじめを助長していることもあるのです。



いじめを面白がっている人は、
いじめを[あおっている立場](#)に
なっています。



いじめを見て見ぬふりしている人は、
暗にいじめを認める立場になっています。

いじめを 起こさない！

活躍の場や居場所のある学校・地域・家庭に！

学校では

いじめの起きにくい学校とは？

みんなに居場所がある
=心から落ち着ける場所がある
子ども同士の絆が強い
=一人ひとりに活躍の場がある
授業など、日ごろの学校生活を大切にします



いじめを 見逃さない！

子どもたちの様子にアンテナを高く！
心配なことはすぐ連絡・すぐ対応！

いじめが疑われたら

複数の教職員が情報交換
より注意深い観察
気になる子への声かけ
関係しそうな子への聞き取り など
日常的な把握のためにアンケートも実施しています

いじめを 解消する！

学校・家庭・地域が協力していじめを解消し
ともに子どもを成長させましょう！

いじめが起きてしまったら

いじめ解消のために、家庭・地域と学校が
ともに取り組みましょう！

いじめにあった...

子どもの気持ちに寄り添いながら、解消に向け、保護
者と学校と力を合わせる
子どもの安全と安心を確保することを最優先する

まさかうちの子がいじめを...

「うちの子に限って」と思わず、事実を聞き取る
「なぜしてしまったのか」子どもの気持ちは受け止め、
行為は強く否定する
「したことに腹が立ったんだね。でも、あなたがし
た行為は、とてもいけないことだ。その行為は許せな
い」「いじめをしてしまう あなたが心配だ」
「どうすればよいか、どうしていくか」とも考える
「さんは、傷ついている。どう接していけばいいと
思う？」
「あなたには、こんなにいいところがあるのだから、
これから をがんばっていこうよ。」
「いじめという行為は絶対に許されない」ことをしつけ、
「いじめ」をとおして大切なことを学ばせましょう

家庭では

子どもと対話していますか？

今日学校で何が楽しかった？
クラスで困っている人いない？
それって、いじめじゃない？
心配なことがあったら相談して
いじめについても、話題にしましょう

子どもをほめていますか？

家庭での役割が果たせたとき
できなかったことができたとき
できないことを やろうとしているとき

あなたがいて助かる、いないと困る
がんばったね
がんばっているの知ってるよ

地域の行事に子どもと参加しましょう

参加した子どもと触れ合しましょう

「いじめられているかもしれない...」

「元気がないね」
「何か心配なことがあるの？」
「気がかりなことでもあるの？」

「心配している」メッセージを伝える

× 「いじめにあってるの!？」と問い詰める
「あなたにも悪いところがあるからだ」
「勘違いじゃない? 気にしすぎだ!」
(子どもが言いづらくなってしまいます)

感情を受け止め、ことばに

「よく話してくれたね」
「それはつらかったね」「悔しいね」

あなたを守る あなたは悪くない

地域では

子どもにあいさつ・声かけを！

- 1 おはよう。
- 2 さん、おはよう。(名前を入れる)
- 3 さん、おはよう。今日も元気だね。
(あいさつ + ひとこと)

あいさつ
3ステップ

子どもの見守りを！

登下校や放課後の子どもたちの様子を見守ってください

「みんなのカバンを持っているけど...」
「仲間はずれにされているようだ...」
「一人の子にひどい言葉を浴びせている...」

心配な場面を目にしたら、学校に連絡を

地域で守る！

「どうしたの」「大丈夫?」一言が子どもを救
うこともあります
学校・家庭への連絡が早期解消につながります

例; 「3時半ごろ 公園で、青いジャージを着た男の子が、3人
の友人らしき子たちから蹴られ、かなり嫌そうな顔をしていました。
心配です。」